

施策名 21 安全な水を安定して供給し、健全な水循環を維持する

030021

4. 施策にかかるコスト ※企業会計を除く									
			単位	R元予算	R元決算	R2予算	R2決算	R3予算	
コスト の内訳	投入人員	正職員数	人		0.6		0.86		
		会計年度任用職員数			0.0		0.0		
	人件費	直接人件費	千円		4,264		4,671		
		間接人件費			594		731		
	直接事業費			3,636	636	3,697	2,265	3,641	
	間接事業費				5		148		
	フルコスト			3,636	5,499	3,697	7,815	3,641	
	財源 内訳	使用料及び手数料		千円					
国庫支出金		1,111			21	1,111	580	1,111	
府支出金		1,383			138	1,444	662	1,388	
市債									
その他									
一般財源 1（＝フルコスト －特定財源）		1,142	5,340		1,142	6,573	1,142		
一般財源 2（＝直接事業費 －特定財源）		1,142	477		1,142	1,023	1,142		
備考									

5. 施策の成果指標							
成果指標1		市内上水道管の耐震化率					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
%	令和10年度	35	増加	31.2	31.8	32.2	32.6
成果指標2		下水道人口普及率					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
%	令和11年度	74.7	増加	64.7	66	66.8	67.7
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和2年度実績 ※企業会計を除く）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所見
				人件費						
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込)			
合併処理浄化槽設置補助事業 (環境)	計画件数に対する補助件数割合			1,928	437	2,008	3,364	成果	B：現状維持	公共下水道が当分の間整備されない地域については、補助金制度により合併浄化槽を推進し水質保全を図ることができた。
	R2実績	62.5	%					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		-	1,505	869	1,652				
合併処理浄化槽届出等事務 (環境)				2,835	199	257	277	成果	評価対象外	
	R2実績									
	最終目標値に対する達成率			4,229	3,989	3,750		資源配分		

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	順調に進んでいる。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性
水道事業では、令和元年6月に「安全」「強靱」「持続」を基本目標とした「かいづか水道ビジョン2019」を策定し令和10年度までの事業計画を示した。下水道事業においても、令和2年4月に次期計画となる「第4次貝塚市中長期下水道整備計画」を策定したところである。引き続き、選択と集中、時期を逸することのない投資を心掛け、市民の負託に応えていきたい。また、下水道の汚水管整備に関しては、将来の市人口の変化等を踏まえた計画区域の見直しも含めて検討を行う必要がある。